

英語は必須です。しかし、それは母国語である日本語という文化を失わせるものであってはなりません。外国人留学生の場合、彼らが何を求めて日本にやってきたのか理解することが大切です。彼らは、未知の歴史と文化を持った国への好奇心や興味を持って来ています。

卒業後も日本で働きたいと考えているのは、さらに知りたいからです。つまり、好きになったからです。それ自身に、私たち日本人は自信を持つこと。

ただ日本語は難しいと、私たちも考えています。そのため、日本語を外国人に対して強要できないし、できるはずがないと諦めている。これではダメです。日本語も文化であるのなら、日本語を教えることなしに、本当に深くまで日本文化を理解したことにはなりません。彼らに日本で活躍してもらうために、誇るべき日本語を含めた日本の文化を教えてあげてください。

但し、私たちも一つ覚悟を決めなくてはなりません。

アメリカで話されている英語ですが、完璧な英語が意外に少ないのを知っていますか？文法にしても発音にしても、とんでもない英語が横行しています。それでも、お互いに理解し合いながら生活をしている。アメリカという国は人種の坩堝(るつぼ)です。その「とんでもない英語」を受け入れるだけの度量がアメリカにはあるのです。

私たち日本人も、「とんでもない日本語」を受け入れる度量を持たなければ、うまくいかないことを納得して、私たち自身もグローバル対応していくことが求められていきます。

┌

| 2 | 勉強会・セミナー等のご案内 [事前申し込み要]

└

先週「緊急告知」でご紹介いたしました、来年の1月21日(木)の勉強会にゲストとして株式会社NTTデータの人事部 兼 グローバル事業本部グローバルHR担当部長の田中 一郎さまにご登壇頂くことになりました。

タイトルは「多国籍体制の組織づくり～M&Aで獲得した海外人材の活用」です。

私自身とても楽しみにしております。是非、お早めにお申し込み下さい。

その後は、私から「30分間で外国人とコミュニケーションができる”英語もどき”」のお話を致します。ルール破りの英語ですが、社内に英語の壁を感じているようでしたら、お試しいたい手法です。

お申し込みは http://globalforce.link/?page_id=1582 でお待ちしております。

[追伸]

来年度の手帳(カレンダー)に下記勉強会の日程もお忘れなく！(^)

2016年3月17日(木) 14:00-16:00

2016年5月19日(木) 14:00-16:00

場所: 星陵会館(東京都千代田区永田町2丁目16-2)

<http://www.seiryokai.org/kaikan/map.html>

┌

| 3 | 摩訶珍(まかちん)編集後記

└

先日テレビを見ていたら山田洋次監督が、ご自身の幼少時代の経験から、戦前日本人は中国や韓国で現地の人たちを「見下していた」ことを話していました。きっとそうだったのだと思います。

